



旬をとらえ 魂を込め ひながたの実践

本部中庭の梅が綺麗に咲いています。多少暖かい冬でも暑い夏でも、旬が来れば花が咲き、また紅葉する。神様がしてくださる事を一番わかりやすく見せてくださる姿だと思います。只今は年祭活動の旬。我々は旬に応じたことを素直につとめさせていただくことで、それに相応しい御守護をお見せくださるに違いない
(2月教区長会議表統領挨拶より) 2024.2.26 本部中庭



第596号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
https://tenrikyohk.com



奈良駅前 で路傍講演

奈良市で布教実習 布教部

教区布教部では、1月27日、奈良市の本部直属・満洲眞勇分教会(村田幸喜会長)を拠点に布教実習を開催、3名が参加した。

村田先生には昨年8月、リモートで布教講話を頂いたが、この度の布教実習でも、実動に先立ち「さあ行くぞ!」と奮起させて頂ける、熱いお話と参加者質疑の時間を設けて頂いた。おさしづに「何ほ広く田地田畑あればとて、時かん種は生えん。種無しに作れるか。種時かずに取れようまい。」(明治36年5月20日)とあり、先人の教

話にも「種まきが先や」「種を蒔いて仕切り肥えしても、十分取れん時があるものを、種を蒔かずして取れることはない」と遺されているとして、種まきの大切さが心に響く実体験などを説かれ、更には「お言葉に、三分の心七分の台とお聞かせいたただくので、人間が三動けば親神様が七働いて下さる。その三が三十になり三百になれば、七のお働きがすごく大きなものになってくる」とお聞かせ下さり、参加者一同、大きな勇氣を胸に教会を出発。JR奈良駅前にて布教実習を開始した。



おさづけの取次ぎを

駅前広場にて4名が交代で路傍講演を行い、各自順番までの時間をリーフレット配布にあてた。広場のゆったりとした空間

のなかで、参加者は講演やリーフレット配布を気持ちよくさせていただくことが出来た。コロナ明けの雰囲気も漂う中であつて外国人観光客も多く、教会でいただいた英語版のリーフレットは大いに役に立った。

また、村田先生が声をかけたご婦人へおさづけの取り次ぎをされている姿に、きっかけを自分で見出し、自然とお取次ぎをする大切さを学ばせていただいた。今回は初めての試みであつたが、次回は、より多くの方に参加していただけるよう企画していきたい。(布教部長内田誠司)

定例にをいがけ やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、2月11日、札幌市の大通公園で布教活動を行った。北海道の冬の一大イベント「さっぽろ雪まつり」は大通公園会場を主に、4日から11日まで開催され、およそ240万人が来場し、海外からも多くの観光客が訪れ賑わいをみせた。その最終日、やまびこ会は札幌東支部と合同で「国内で海外布教!」を謳い、英語による路傍講演を行った。海外旅行者が共通言語として使用する事に着目し英語での講演を行う中で、世界各国から日本を訪れる観光客へ「世界一れの御教え」を英語でお伝えす

るには、片言の英語力の方が英語を母国語としない方々にも伝わりやすいのかもしれないという点に気が付いた。また、講演内容を英訳する作業では、やさしい単語を使用するように心掛けることで、教祖が親神様の思召を分かりやすく「かなの教え」として説かれたことにも得心ができた。「天理王命」の御名を世界一

れつの親神様の子供達へ伝え弘める路傍講演で、こかん様が浪



雪まつりで賑わう 大通公園で

1 日布教の家体験

青年会

教区青年会(岡田荃貴委員長)は、2月18日、教務支庁にて「ワンデー」(1日布教の家体験)を開催した。参加者4名。

この企画は布教の家の寮生活にならない、朝の神殿掃除から始まり、神名流し、路傍講演、戸別訪問を行い、夕方の神殿掃除まで行うもの。



神名流し

日中は10℃近い天候で、皆うつすらと汗ばみながら布教に繰り出した。

その日の振り返りで参加者からは「仲間とともに布教に出ることで力をもらった」「やらずにいると衰える布教力、これからも勇んで取り組んでいきたい」という感想が出た。

岡田委員長は「今後も定期的に布教行事を開催していきたいと思うので是非ご参加いただきたい」と次回参加を呼びかけた。

学生会

ワーク&トーク

1月17日、18日の1泊2日でWork & Talk(ワーク&トーク)を教務支庁にて開催した。

これは、同じ地域に住む大学生・専門学生同士が、信仰や社会の諸問題、身近な事柄などをテーマに語り合い、また、にいがけやひのきしんなどの実践活動を通して、自身の信仰活動を育み、学生同士の友情を深めることを目的に行われ、8名が参加した。

参加者から「逸話篇に触れ、背景を調べながら読み込み、教祖や先人の思いをより一層感じさせてもらえてよかった」と感想を頂いた。楽しみながら学ぶバランスが今後の課題となった。最後にそれぞれが決意表明を発表し、閉会となった。



決意表明を手にポーズ

真冬の集い

2月17日、教務支庁を会場に1泊2日で「真冬の集い」を開催し、道内より18名が参加した。この行事は、春の学生おぢばがえり(＝春学)や普段の学生会活動に興味をもってもらうと企画された。



真冬の集い

ゲームや肝試しで緊張をほぐし、初参加の学生にも全体の輪に馴染んでもらえて和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めることができた。

翌日は、グループタイム、モルック大会を行い、その後は、今後の活動につながるよう春学の紹介と参加のお願いをして散会した。

冬季訓練

災救隊

豪雪地区の支部隊を中心に今季も冬季訓練を実施。各市町村の社会福祉協議会と連携して、主に独居老人宅を中心に除排雪作業を行った。

・空知支部隊(眞鍋顕成隊長)
1月28日・29日、月形町・浦臼町にて2日間延べ73名参加。



浦臼町

・南空知支部隊(富山知一隊長)
1月29日、30日、三笠市にて2日間延べ44名参加。



三笠市

・富良野支部隊(今井宏輔隊長)
1月31日、上富良野町にて6名参加。



上富良野町

・天龍支部隊(佐藤靖幸隊長)
2月19日、深川市にて6名参加。



深川市

・小樽支部隊(久米田忠彦隊長)
2月19日、小樽市にて6名参加。



小樽市

(ボランティア参加の為ヘルメット未着用)

つとむ、つかさぐり

—主事 中村圭—



10 年以上前、コロナ禍以前のおちぼがえり団参でのこと。直

属で神苑周辺のひのきしんをさ

せていただいた。生憎その日は

雨模様で予定していたひのきし

んがでまず、神殿階下での拭き

掃除を用意していただいた。30

名ほどで勇んでつとめたが、限

られた範囲だったので、あつと

いう間にやる事が無くなつ

た。そんな中、「あー、ありが

たいな」と誰に聞かせるでも

なく、一人の初老の男性の音が



ひのきしんができて、こんなあ

りがたいことはないよ」と笑顔

で話してくれた。

ひのきしんの本当の意味を教

えていただいたように感じた。

だ。

教務支庁にお越しただいて

から、お帰りになるまで、まる

で子供のころの遠足に来たかの

ように、そしてひのきしんの内

容に全く関わらず「いそいそ

ている。その月により、初めて

教務支庁に入る方がいたり、毎

月参加されている方が、友人を

誘ってみえたり、これまでに 70

名の方がご参加下されている。

一緒にひのきしんをさせてい

ただいて感じることは、皆さん

一緒に、「いそいそ」とひのき

しんに取り組まれていること

だ。

この「ふせこみひのきしん」

は、140 年祭を迎えるまで年祭活

動の一助として実施しておりま

すので、これからもご参加お待

ち申し上げております。尚、受

け入れスタッフも併せて募集し

ておりますので、どうぞよろし

くお願いいたします。

献血バス配車

福祉厚生部

北海道赤十字血液センターで

は、献血バスを企業、団体など

へ配車を行っており、福祉厚生

部(五十嵐仁部長)は、2月2日、

教務支庁玄関前に献血バスの配

車をし、18名が献血を行った。



献血の様子



献血バスと受付バス

年祭活動各地の動き

札幌東支部は、1月30日、ニ

セコ町にて昨年に続き「ニセコ

海外にをいがけ」と銘打って、

世界だすけの御教えを届けよう

と布教活動を実施。

豪雪地区で雪の心配もされま

行き交う人は、多くが外国の

方々で、その中、よろづよ八首を

奉唱し、世界中の陽気ぐらしをご

祈念させて頂きました。

その後、英語、スペイン語、日

本語で路傍講演を交代でさせて頂

く間、その周辺では、パンフレッ

ト配りをさせて頂きました。

よろづよ八首奉唱の際、私た

ちの様子を写真に撮っている方

や、笑顔で挨拶をしてくれる海

外の方々もあり、その際すかさ

ず「Have a nice day!!!」との

声飛び交い、和気あいあい、

喜び勇んだ時間が、あつという

間に過ぎ去りました。支部布教

部長さんは、せっかくの機会だ

からと英語のパンフレットを拡

大コピーして何回も読む練習を

して、今回、初挑戦された姿に、

参加者達も皆、感激した次第で

す。

(札幌東支部長 赤羽誠)



英語で路傍講演

各地の動き

● 空知支部 少年会

冬のお楽しみ会開催

空知支部少年会（梶川文吾育
成委員長）は、1月14日、冬のお
楽しみ会を開催しました。34
名参加。（少年会員21名、大人13名）



パネルシアター

10時に美唄市体育センターに
集合、美唄市陸上競技協会指導
員、高橋宜大先生（結実分教会
教人）指導のもと、じゃんけん
列車やしっぽ鬼、またフラフー
プや、ボールを使った様々な内
容の運動をしました。

その後、新生生分教会に移動
し、会長夫妻による「朝起き・
正直・働き」のパネルシアター
が行われ、皆真剣に話を聞いて
いました。

昼食では、美味しいカレーを
皆で食べました。久しぶりに空

知支部に住まう少年会員が集ま
り、楽しい一日となりました。

（支部社友伊藤）

● 北見支部 雅楽体験授業

北見支部（長尾正人支部長）
は、2月7日、北見市内の端野
小学校にて、雅楽の体験授業を
させて頂きました。

北見支部の雅楽部員だけでな
く、普段から雅楽を通して交流
がある方にもお手伝いを頂き、
オホーツク雅楽会と命名し、遠
方からも来て頂いて、2管立て
でさせて頂きました。そのメン
バーには、天理教の方だけでは
なく、神社の宮司夫婦や、宗教
には全く関係がないけど、雅楽
が大好きで宮内庁の講習会にも
参加していたという方がおられ
たりと、雅楽を通して宗教の垣
根を越えたお付き合いをさせて頂
いています。

前晩から泊まりがけで練習を



触れて体験を

し、当日はお天気も良く、とて
も清々しい気持ちで、一手一つ
に演奏させて頂きました。伸
びしろが多い北見支部雅楽部な
ので、来年も、子供たちに感動
して頂けるような演奏を目指し
て、日々練習に励みたいと思っ
ます。（報告奥山）

● ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日



神殿掃除

スリッパ拭き

1月29日は、神殿掃除、畳か
らぶき、スリッパ拭き、トイレ、
廊下、階段、ロビー掃除を行い
17名が参加下さいました。



TOPICS

北海道選挙区の参議院議員である
勝部賢志（かつべけんじ）氏が
1月5日に帰参し、初めておちば
を参拝いたしました。

これは昨春に、北海道知事選挙
応援のため来庁し、教区長と面会
の中で、おちばがえりの勤めを受
け、この度の帰参となりました。

天理教基礎講座をご受講いた
だいて、おちばを後にされました。



けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談
の方は弁護士を紹介致します。
教務支庁書記・渡部まで
ご連絡下さい。

◎毎月26日に本部分次祭選擇式
を午前10時より行っています。

計報

立教一八六年・令和5年

- ・國松 和様 11月18日出直（92歳）
北鳳分教会前会長夫人（函館支部）
- ・山口 繁子様 12月14日出直（94歳）
歌笛分教会前会長夫人（日高支部）

立教一八七年・令和6年

- ・河野 洋子様 1月7日出直（70歳）
そらちよき分教会長（札幌北西支部）
- ・原 邦夫様 1月29日出直（89歳）
旭陽分教会前会長（旭川支部）

北海道教務支庁日誌抄

1月4日	御用始め 婦人会例会 たすけ推進会議
6日	たすけ推進会議
7日	青年会 Meeti-
8日	一手一つお願いづとめ 支部長会議
13日	学生 Work & Talk（14日） 主事会
14日	会計部会議
23日	教区長帰本 本部春季大祭選擇式
26日	教区長会議
27日	布教部布教実習（奈良市） 学生会例会
28日	教区長帰庁 教務支庁ふせこみひのきしん しらゆき会例会
31日	主事会 運営委員会 たすけ推進会議
2月1日	青年会 Meeti- 少年会会議 編集長会議
2日	一手一つお願いづとめ 支部長会議 札幌中南支部例会 しらゆき会例会
4日	学生会例会
6日	やまびこ会
10日	会計部会議
11日	しらゆき会例会
12日	学生会真冬の集い（18日） 青年会 1日布教の家体験
13日	教区長帰本
17日	教区長会議
18日	本部月次祭選擇式 主事会
22日	教区長帰庁
25日	教務支庁ふせこみひのきしん たすけ推進会議
26日	
28日	